

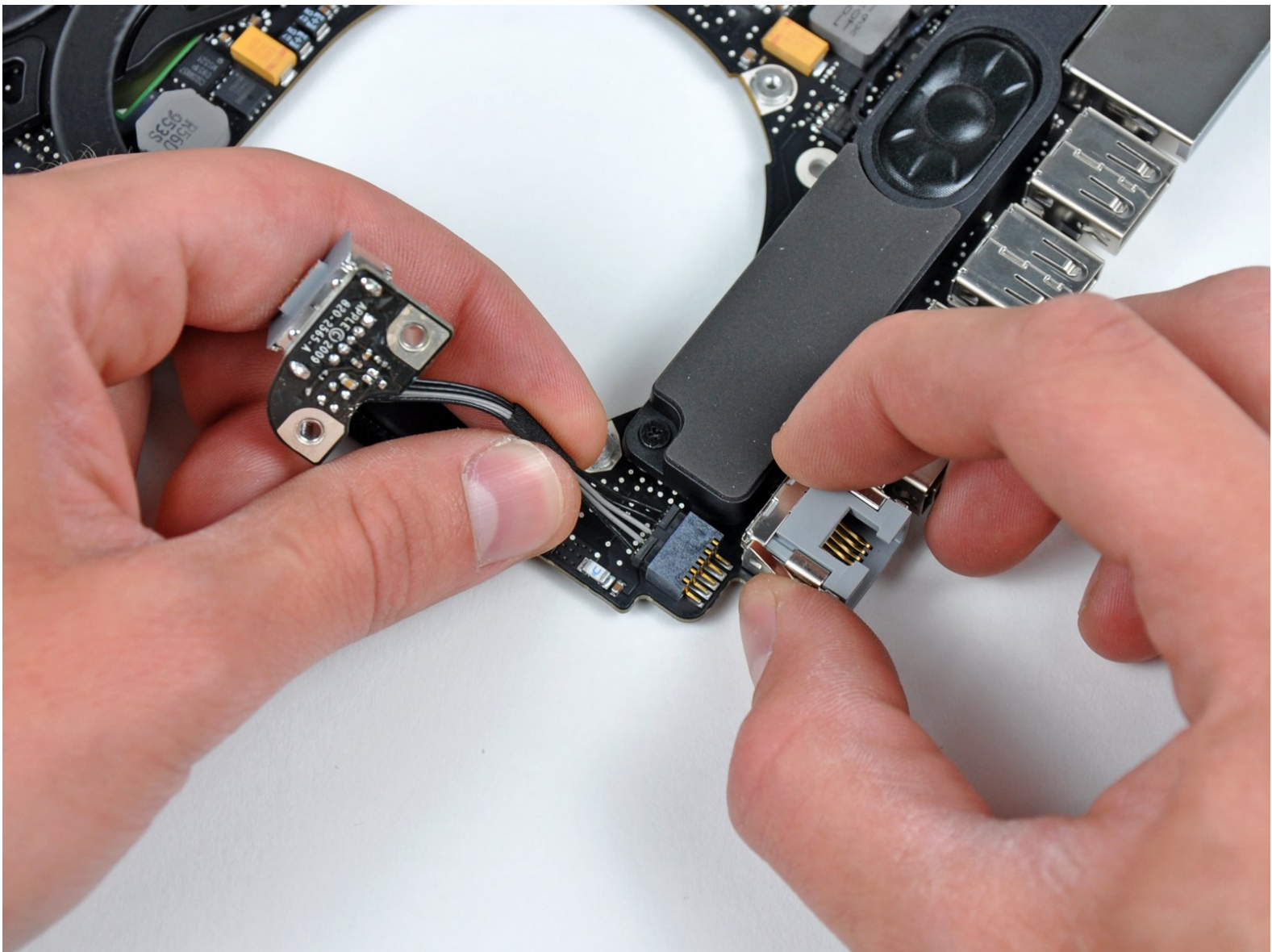


MacBook Pro 15インチ Unibody Early 2011

MagSafe DC-Inボードの交換

このガイドを参照して、MacBook Pro 15インチ Unibody Early 2011 MagSafe DC-In ボードを交換します。

作成者: Walter Galan



はじめに

このガイドを参照して、MacBook Pro 15インチ Unibody Early 2011 MagSafe DC-In ボードを交換します。



ツール:

- [プラススクリュードライバー\(#00\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T6トルクススクリュードライバー](#) (1)



部品:

- [MacBook Pro Unibody 13" and 15" MagSafe DC-In Board](#) (1)

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。

- 13.5 (14.1) mm プラスネジ—3本
- 3 mm プラスネジ—7本

🔧 このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

手順 2



- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。
- 底ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

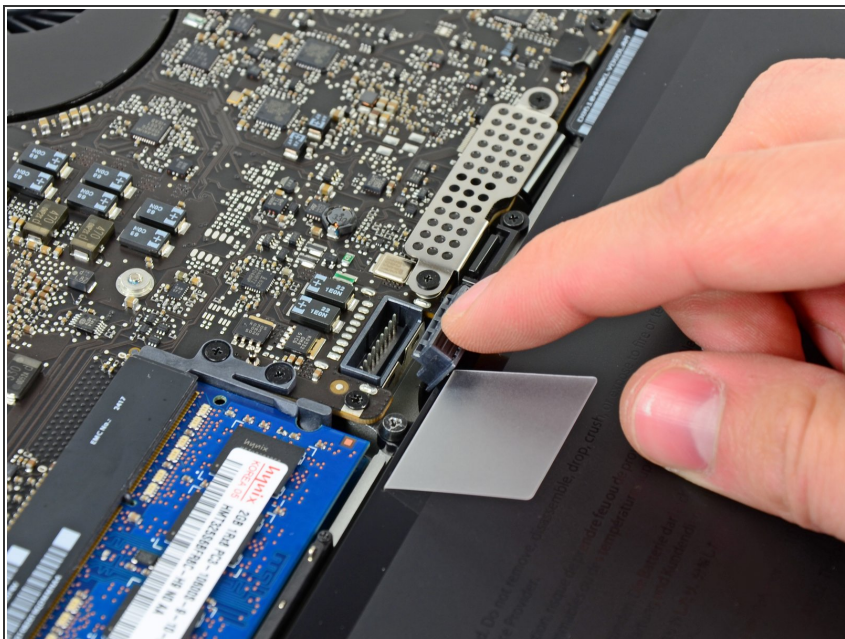


✎ ※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクタをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

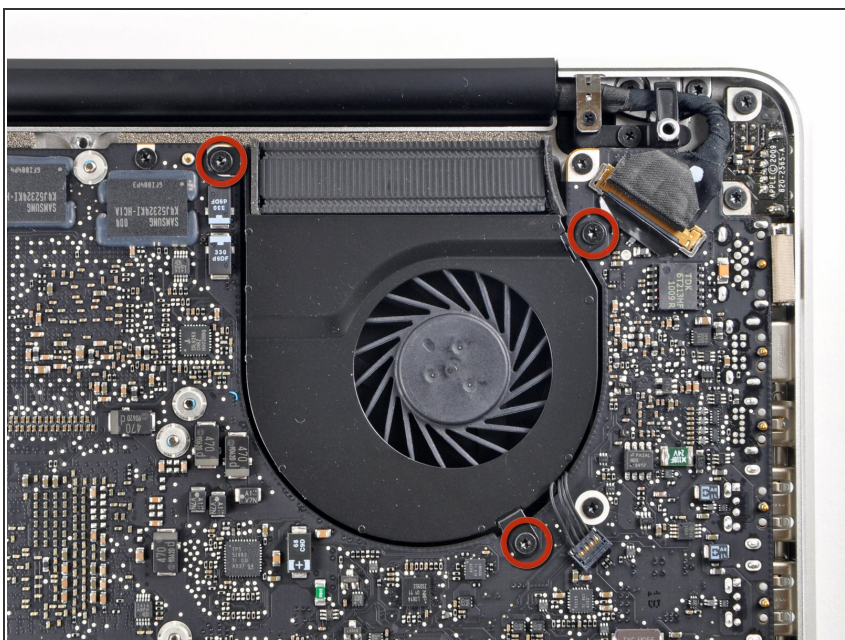
i ソケットから接続を外す際、コネクタの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

手順 4



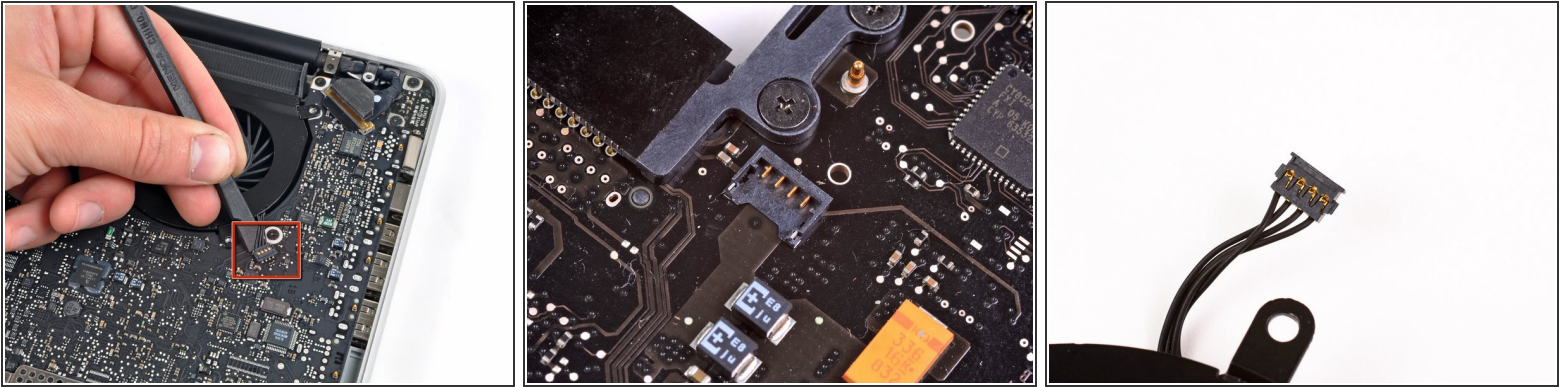
- バッテリケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — 左側ファン



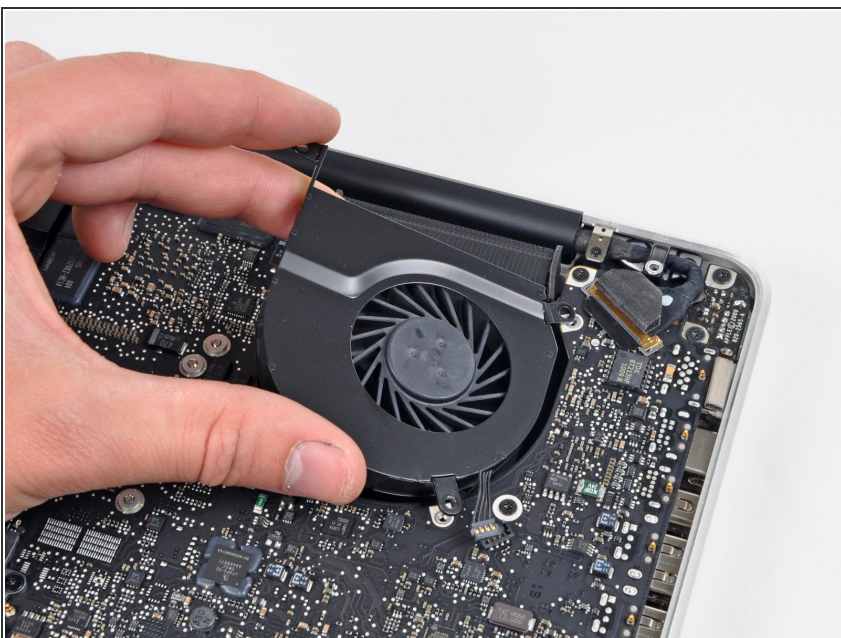
- 基板に左側ファンを固定している 3.4 mm T6トルクスネジを3本外します。
- ① あるモデルでは、T6トルクスネジが3.1 mmの長さのものがあります。

手順 6



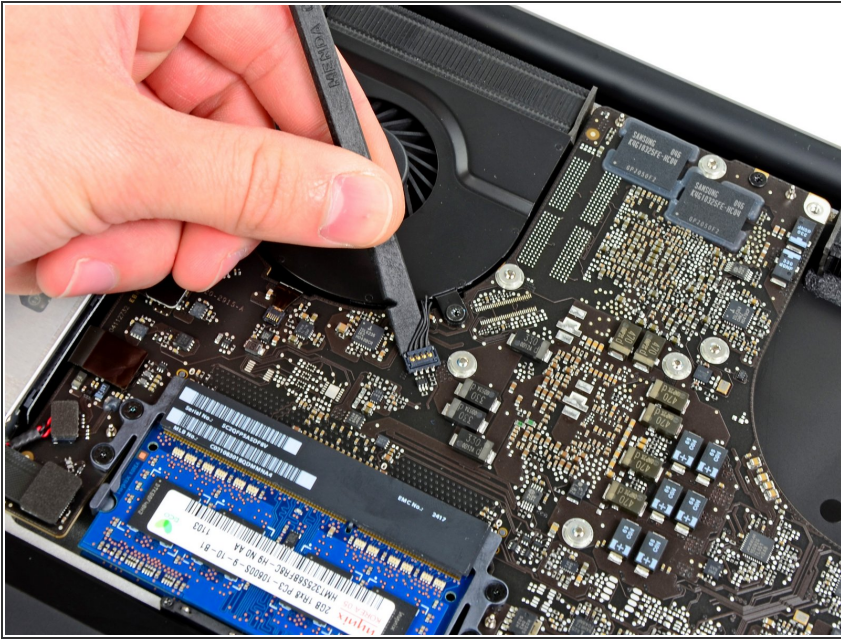
- スパッジャーの平面側先端を使って、基板から左側ファンのコネクタの接続を外します。
- ❗ コネクタを解放するにはファンケーブルのワイヤ下からスパッジャーの平面側先端を水平に差し込み、ツイストすると作業が進みます。
- ⚠ ファン用のソケットとコネクタは2番目と3番目の画像で確認できます。スパッジャーでファンコネクタを持ち上げてソケットから外す際、プラスチックのファン用ソケットにダメージを与えないようご注意ください。2番目の画像から基板のレイアウトが確認できます。お持ちの基板とは若干異なる箇所があるかもしれませんが、ファン用ソケットは同じはずです。

手順 7



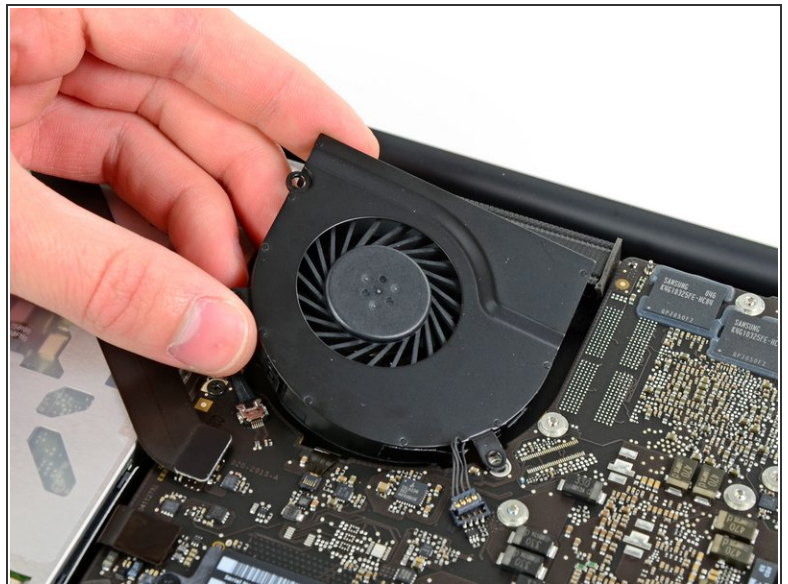
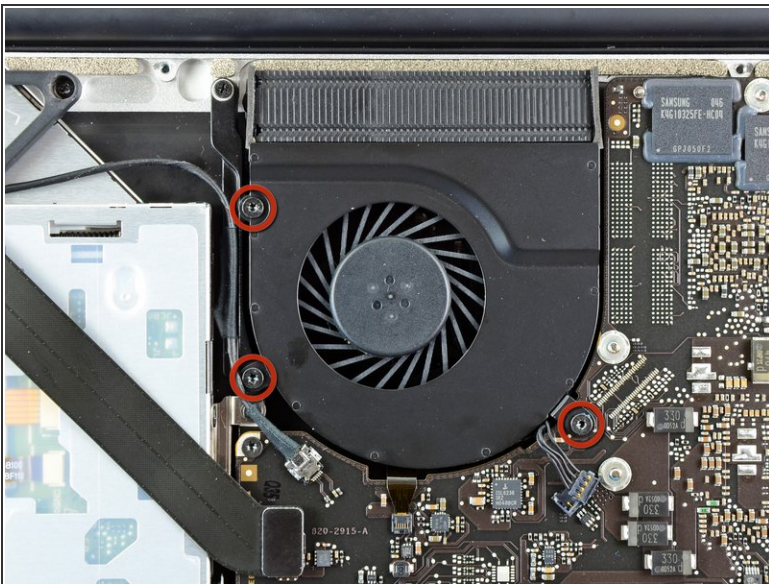
- 上部ケースから左側ファンを持ち上げて取り出します。

手順 8 — ロジックボード



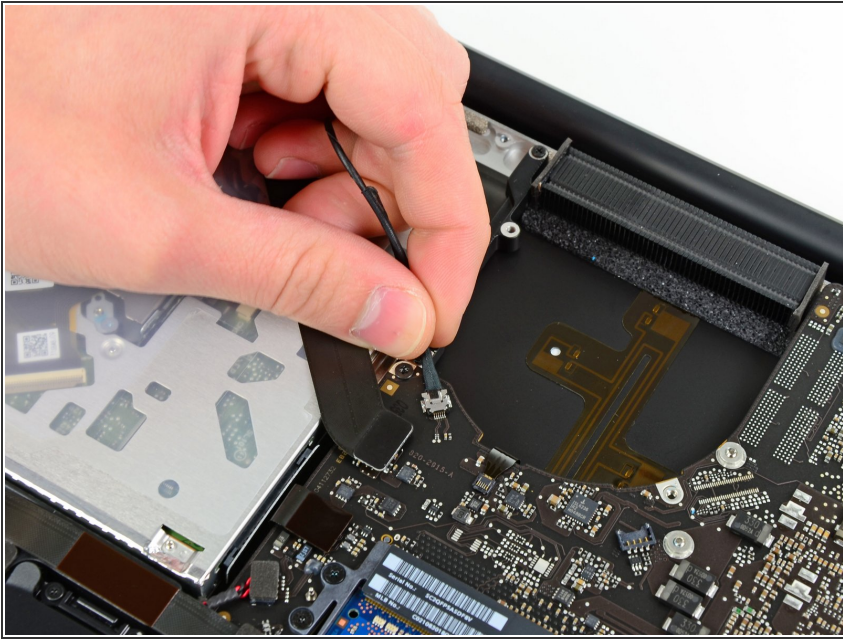
- スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットから右側のファンコネクタを持ち上げます。
- ① コネクタを外すには、ファンケーブルのワイヤの下からスパッジャーをひねりながら引き上げると上手いきます。

手順 9



- ロジックボードに右側ファンを固定している3.4 mm (3.1 mm) T6トルクスネジを3本外します。
- ロジックボード上の外れた部分から右側ファンを持ち上げます。

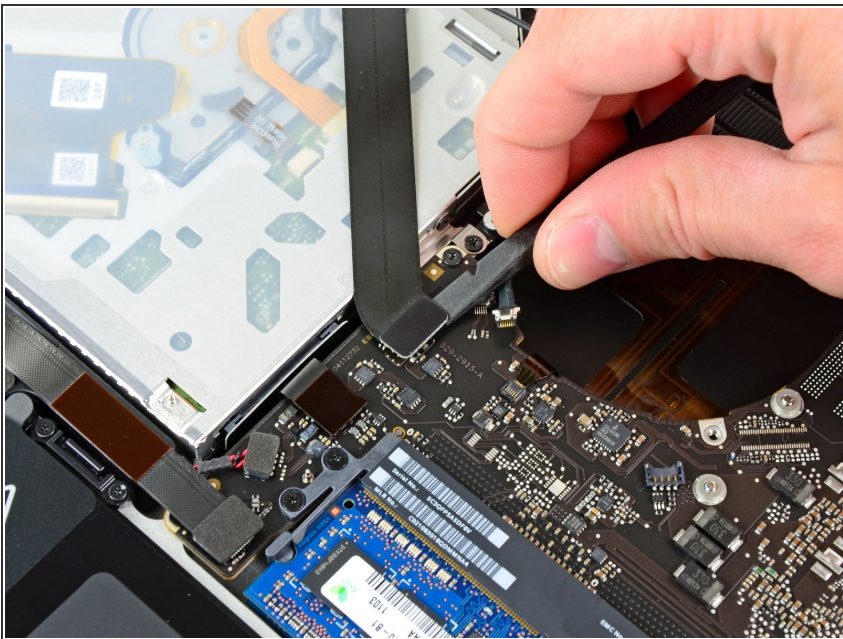
手順 10



- ロジックボード上のソケットからカメラケーブルを引き離します。

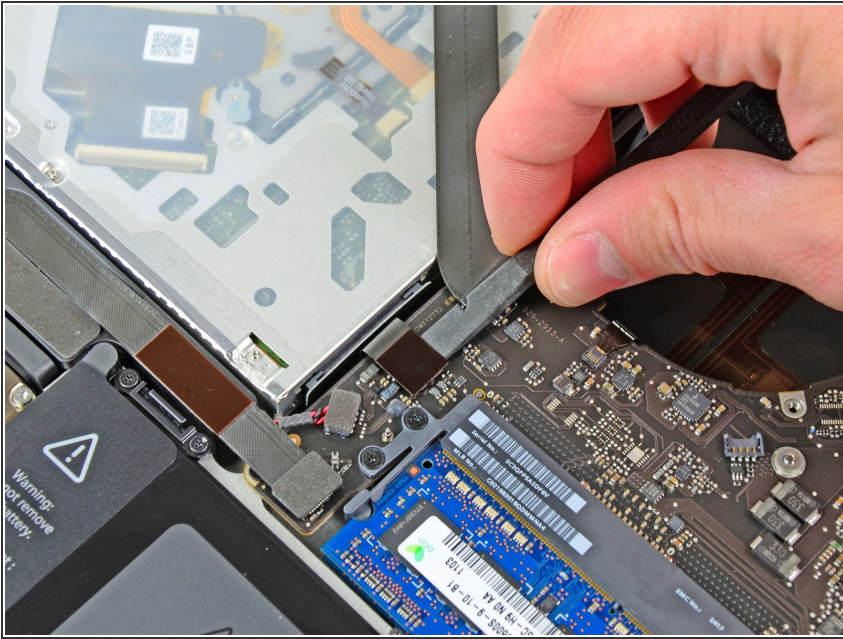
⚠ カメラケーブルの接続を外す際は、上に向かって引き抜かないでください。ケーブルを上向きに引くとケーブルとロジックボード両方にダメージを与えてしまうことがあります。ロジックボードの表面に対して平行にケーブルを引いてください。

手順 11



- スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットからAirPort/Bluetoothコネクタを引き上げます。

手順 12



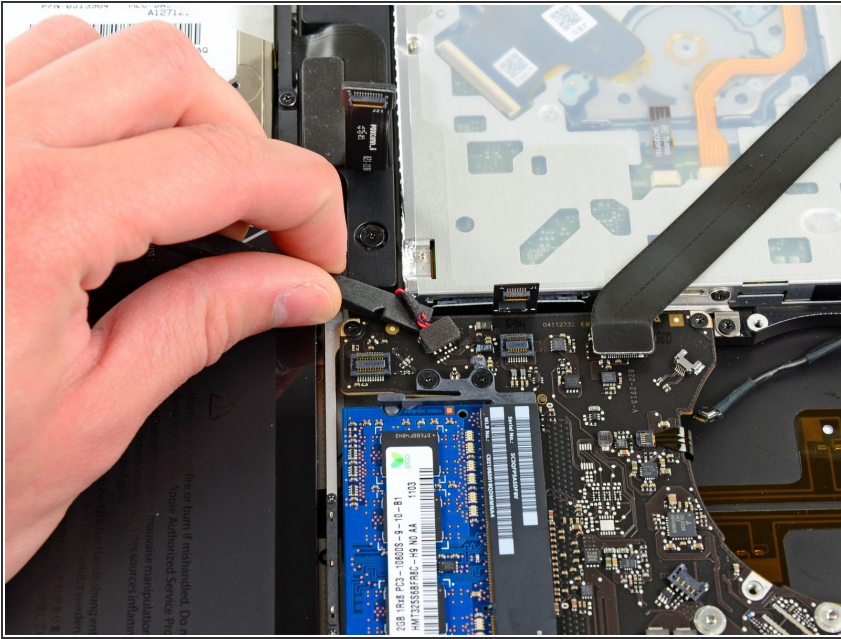
- スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットから光学ドライブコネクタを引き上げます。

手順 13



- コネクタの下から接続を引き上げて、ハードドライブ/赤外線センサーケーブルの接続をロジックボード上のソケットから外します。

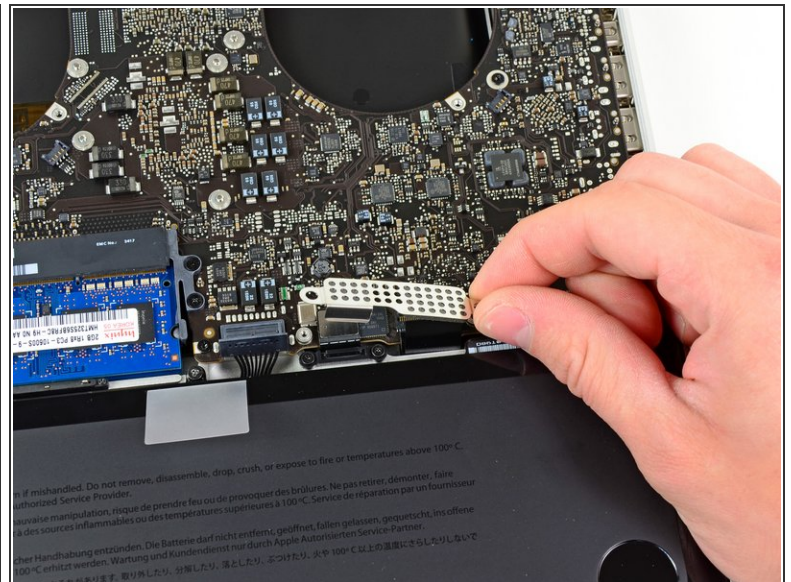
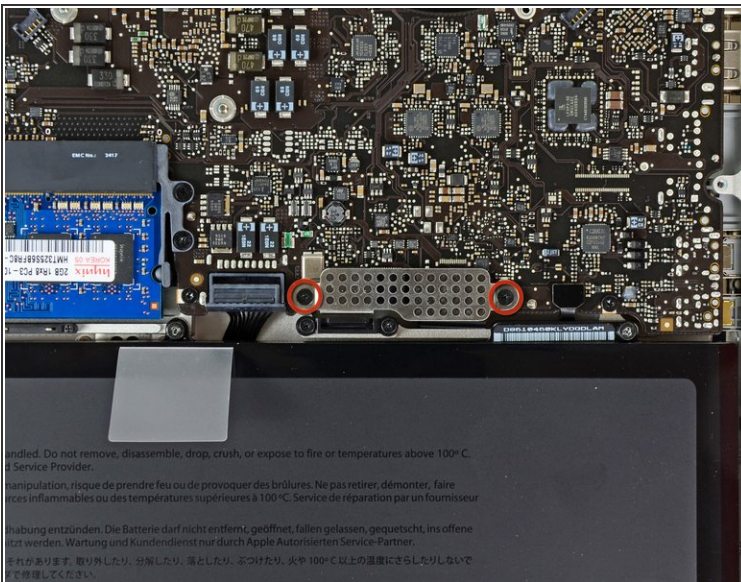
手順 14



- スパッジャーの平面側先端を使って、サブウーハー/右側スピーカーのコネクタをロジックボード上のソケットから引き上げて、接続を外します。

① ワイヤの下から持ち上げてください。

手順 15



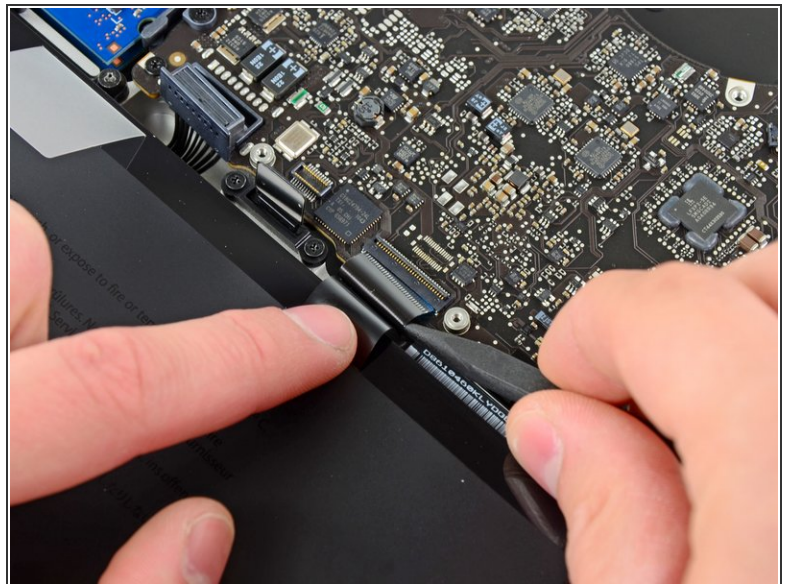
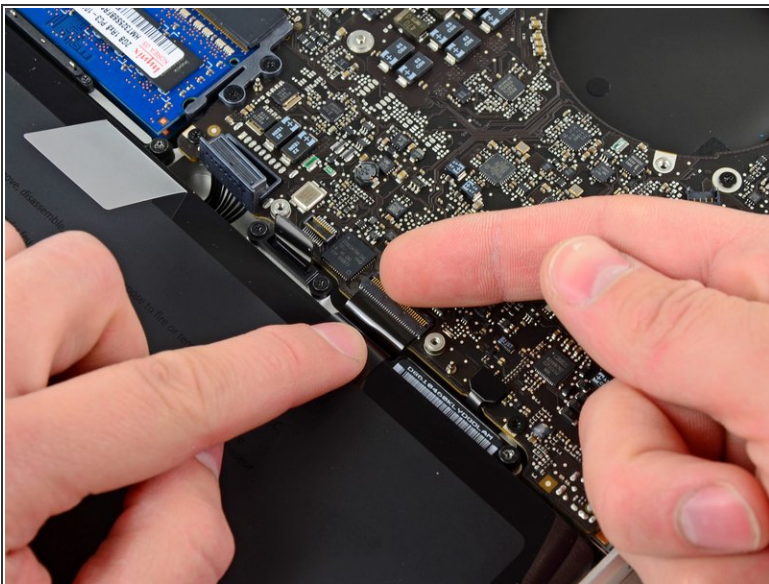
- ロジックボードにキーボード/トラックパッドケーブルのカバーを固定している1.5 mm (1.2 mm) プラスネジを2本外します。
- ロジックボードからカバーを取り出します。

手順 16



- スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットからトラックパッドのコネクタを引き上げます。

手順 17

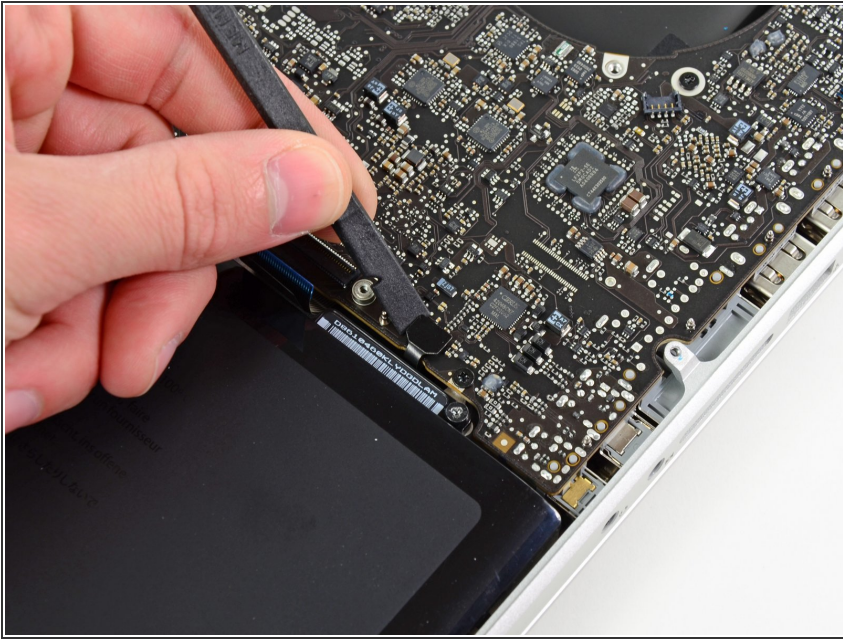


- 指の先でキーボードリボンケーブルのZIFソケット上の固定フラップを裏返します。

⚠ 蝶番の固定フラップのみ裏返してください。ソケット自体には接触しないでください。

- スパッジャーの先端を使って、キーボードリボンケーブルをソケットから引き抜きます。

手順 18



- スパッジャーの平面側先端を使って、基板上のソケットからバッテリーインディケーターのコネクタを持ち上げます。

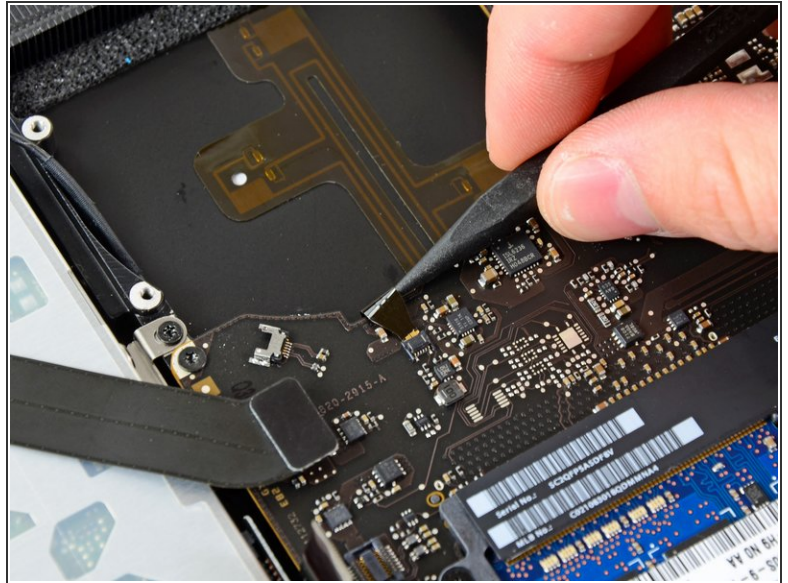
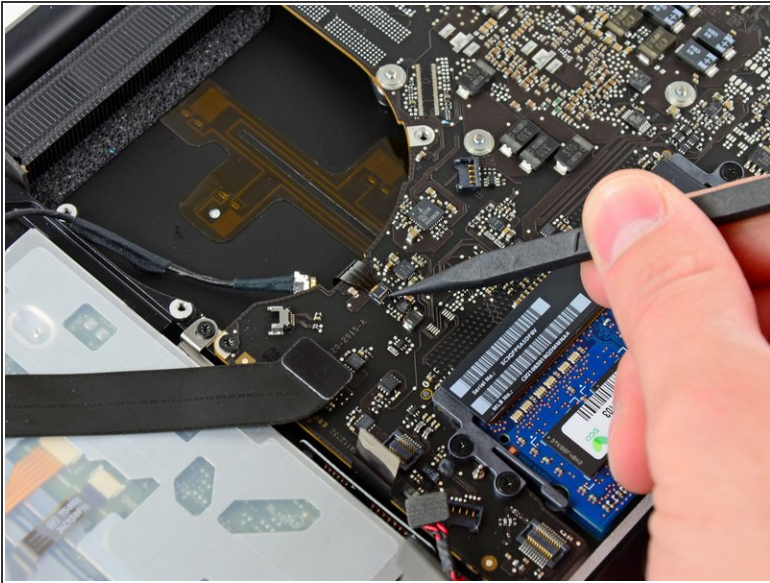
手順 19



- ディスプレイデータケーブルに固定されたプラスチックのプルタブを掴み、デバイスのDC-In側に向けて回します。
- ディスプレイデータケーブルをロジックボード上のソケットから引き抜きます。

⚠ ディスプレイデータケーブルを上には引き上げないでください。ケーブルをロジックボードの表面に対して水平に引っ張ります。

手順 20



- スパジャラーのの先端を使って、キーボードバックライトのリボンケーブルZIFソケット上の固定フラップを引き抜きます。

⚠ 蝶番の固定フラップを引き抜いているか確認してください。ソケットには触れないでください。

- キーボードのバックライトリボンケーブルをソケットから引き抜きます。

手順 21



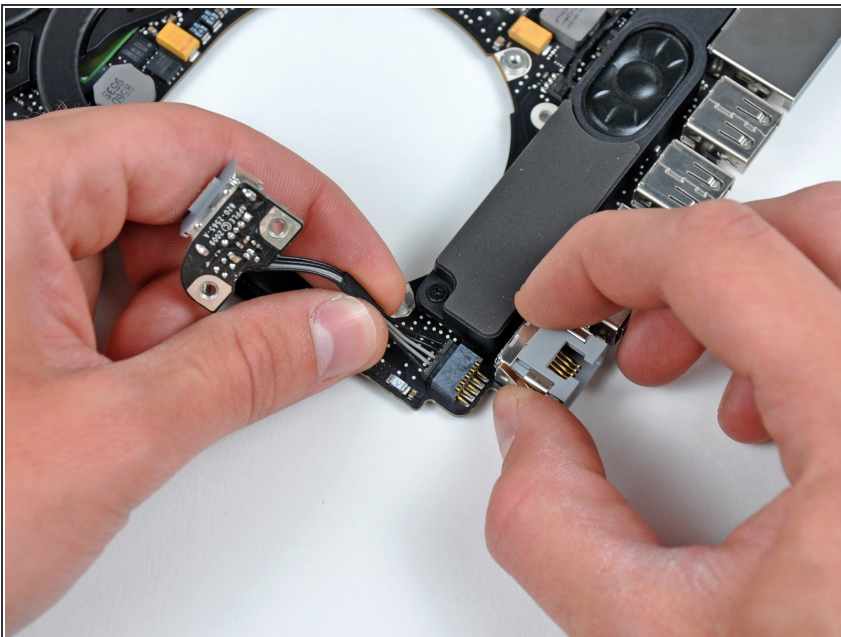
- 次の9本のネジを外します。
 - ロジックボード上の3.4 mm (3.1 mm) T6トルクスネジ7本
 - DC-In ボード上の8 mm T6トルクスネジ2本

手順 22



- 作業中光学ドライブケーブルとI/O端子に掛からないよう注意しながら、上部ケースからロジックボードアセンブリを左側からゆっくりと取り出します。
- 必要に応じて、スパッジャーの平面側先端を使って上部ケースからマイクを取り出します。
- 上部ケースの横からロジックボードのI/O端子側を引き抜き、ロジックボードアセンブリを取り出します。

手順 23 — MagSafe DC-Inボード



- DC-Inボードをヒートシンク側に向けてケーブルを引っ張り、接続を外します。
- ① ケーブルを基板の表面と並行に引っ張ります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

